

さんようおのだ 議会だより

もくじ

新規事業	2
議案採決の結果	3
委員会レポート	
総務文教常任委員会	4
民生福祉常任委員会	5
建設経済常任委員会	6
視察報告	7
一般質問	
中村 博行 議員	8

石田 清廉 議員	8
吉永 美子 議員	9
河崎 平男 議員	9
中島 好人 議員	10
松尾 数則 議員	10
下瀬 俊夫 議員	11
岩本 信子 議員	11
山田 伸幸 議員	12
河野 朋子 議員	12
衛藤 弘光 議員	13
伊藤 武 議員	13

三浦 英統 議員	14
硯谷 篤史 議員	14
伊藤 實 議員	15
平原 廉清 議員	15
矢田 松夫 議員	16
尾山 信義 議員	16
大井 淳一朗 議員	17
高松 秀樹 議員	17
福田 勝政 議員	18
市民のこえ	18
編集室より	18

第1回定例会平成22年2月26日～3月26日(29日間)

22年度予算を議決しました。 総合計画に沿った新規事業を紹介します。

暮らしの安心・安全を守るまちづくり

- ★保育所施設整備費補助事業
21,453千円
- ★認知症高齢者グループホーム他施設
開設準備経費に係る補助事業
27,000千円



うるおいのある 快適なまちづくり

- ★小野田浄化センター基幹
整備事業(継続)
235,547千円



▲更新される汚泥脱水機(小野田浄化センター)

市民が主役の まちづくり

- ★「女性の日」創設事業
300千円
- ★ホームページリニューアル
7,000千円

5つの基本目標

にぎわいと活力に みちたまちづくり

- ★厚狭駅南部地区土地利用
推進事業
500千円



◀区画整理された厚狭駅南部地区土地

人が輝く心豊かな まちづくり

- ★山陽小野田市「科学博覧会(仮称)」事業
500千円
- ★健康づくり推進計画ステーション事業
300千円



議案採決の結果

	件名	全員賛成で可決	賛成多数で可決
補正予算	平成 21 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 6 回）		○
	平成 21 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 7 回）	○	
	平成 21 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計補正予算（第 4 回）		○
	平成 21 年度山陽小野田市下水道事業特別会計補正予算（第 5 回）	○	
	平成 21 年度山陽大野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 5 回）	○	
	平成 21 年度山陽小野田市病院事業会計補正予算（第 4 回）		○
	平成 21 年度山陽小野田市水道事業会計補正予算（第 1 回）	○	
	平成 21 年度山陽小野田市工業用水道事業会計補正予算（第 1 回）	○	
	平成 21 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 回）		○
予算	平成 22 年度山陽小野田市一般会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市訪問看護ステーション事業特別会計予算	○	
	平成 22 年度山陽小野田市駐車場事業特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市国民健康保険特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市介護保険特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市後期高齢者医療特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市老人医療特別会計予算	○	
	平成 22 年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計予算	○	
	平成 22 年度山陽小野田市下水道事業特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計予算	○	
	平成 22 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市病院事業会計予算	○	
	平成 22 年度山陽小野田市水道事業会計予算		○
	平成 22 年度山陽小野田市工業用水道事業会計予算	○	
条例	山陽小野田市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市税条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市執行機関の附属機関に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市消防署建設基金条例の制定	○	
	山陽小野田市火災予防条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市組織条例の制定	○	
	山陽小野田市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員給与条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市職員等の旅費に関する条例及び山陽小野田市報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定	○	
	山陽小野田市議会の議員報酬、費用弁償及び期末手当支給条例の一部を改正する条例の制定	○	
その他	字の区域の変更	○	
	市道路線の廃止	○	
	市道路線の認定	○	
	物品の購入	○	
	山口県市町総合事務組合の共同処理する事務及び規約の変更	○	
	住居表示を実施すべき市街地の区域及び当該区域における住居表示の方法	○	
	山陽小野田市労働会館の指定管理者の指定	○	
請願	小規模工事等契約希望者登録制度の創設を求める請願書	採択	
意見書	核兵器の廃絶と恒久平和を求める意見書の提出	○	

総務文教

一般会計

継続審査に結論が出ました 【厚陽校区小中学校基本計画策定事業】

■21年度補正予算（第6回）■

委員 小中一体型の場合と、別々に建てた場合の予算はどれくらいか。

教育総務課長 小中連携では約24億円を考えているが、別々に建てるのであれば、その1.5倍以上はかかると思う。

委員 統廃合は、今後一切あり得ないと理解していいか。

教育長 地域の人たちとの話し合いの結果で決まるとしか、言いようがない。そういうふうにするように、との文部科学省からの通達である。

委員 適正規模適正配置の基本方針をどう捉えるか、今一度原点に立ち返って考えてほしい。

(賛成多数)

■22年度予算■

子どもに理科の楽しさを知らせたい

教育政策室長 山口東京理科大学との連携事業の1つとして科学博覧会（仮称）を開催するため、協議会への補助金50万円を計上する。

委員 科学博覧会の事業計画は出せるか。

教育政策室長 まだ担当者レベルの協議である。現段階では、正式な資料という形で出すことはかなわないと思う。

国体は市にとって重要行事です

委員 国体のボランティア（きらめきサポーター）の登録人数の実態はどうか。

国体室長 手分けをしながら、いろんな団体をお願いに行った。リハーサル大会が今年の10月にあるので、それに向けて研修を受けてもらわなければならない。そのため、一次募集の期限は3月末としていたが、遅く



みんなで国体を
応援しよう!!

とも5月の初旬くらいまでには出してくださいとお願いをしている。今が100（目標500）を超えたのではないかと思う。

(賛成多数)

条例

お金を貯めて新しくします

■山陽消防署建設基金条例の制定■

消防本部総務課長 老朽化が著しく、耐震性の劣る山陽消防署の建替えに伴う建設財源の確保を目的に基金を造成する。基金は石油貯蔵施設立地対策等交付金の全部又は一部を積立てるものである。22年度は、1億977万9,000円全額を積み立てる。

委員 毎年、同金額を積み立てるのか。

消防本部総務課長 24年度に建設を計画している。2年間の全額と、最後の1年はその年の交付金を使用して、3年で建設をしたいと考えている。

委員 4億円くらいではなかったか。足りない分は起債か。

消防本部総務課長 概算では、4億円で計画している。

企画政策部長 不足分は合併特例債を充てる。

委員 複合的な使い方はできないか。

消防長 あらゆる条件を検討し、単独での建替えを決意した。

(全員賛成)

請願

仕事の発注を幅広く

■小規模工事等契約希望者登録制度の創設を求める請願書■

紹介議員 入札資格者登録業者以外の地元の零細業者に、自治体が発注できる制度の創設を求めるものである。

委員 登録の条件について、他市の状況はどうか。

紹介議員 市内に主たる営業所または本社機能があること、無能力者及び破産者でないこと、入札参加資格者名簿に登録されていないこと、希望を履行するために必要な資格を有しているなどの条件を設けている。

(全員賛成)

民生福祉

一般会計

扶助費 1億 5,267 万円増額

■21 年度補正予算（第6回）■

委員 生活保護受給者の増はいくらか。

市民福祉部次長 昨年決算の実績は 630 世帯・990 人が、1 月末で 669 世帯・1,045 人に増。年間の増える割合が 5 倍くらいになっており、国全体がそういう状況である。

（賛成多数）

■22 年度予算■

民生費 10 億 2,359 万円増額

委員 社会福祉協議会の補助金の大幅アップはなにか。

市民福祉部次長 18 年まで管理部門の人件費の 7 割程度で約 5,200 万円補助していたが、財政悪化により 3,500 万円減額となり、赤字が増えて補助の見直しをした。事業収益を生み出さない管理部門の職員 13 名の人件費の赤字補填をした。

子育て専用のホームページ開設

委員 子育て関連のホームページ開設の委託料の根拠はなにか。

児童福祉課長 市のホームページとは別で「子育て専用のホームページ」をつくる。保育所・幼稚園・児童館を、ブログ形式で写真や絵など見やすくカラフルに紹介しながら、保健関係も分かるようなものを立ち上げるための業者委託料である。

厚狭・小野田地区に新たに福祉施設が開設

委員 施設開設準備経費はどこか。

高齢障害課主査 厚狭地区に健仁会が、認知症高齢者グループホームを、小野田地区には早川内科医院が、認知症高齢者グループホームと小規模多機能型居宅介護事業所を開設するための準備経費である。

（賛成多数）

特別会計

特定健診受診者数の伸び悩みで減額

■21 年度国民健康保険補正予算（第4回）■

委員 特定健診の受診率の低い理由はなにか。

国民年金課課長補佐 「これだ」というものがない。受診の呼びかけは広報に頼っている。対象者には、受診券とパンフレットを送付し訴えている。自営業者も多い。

（賛成多数）

企業会計

医師の補充に難渋

■21 年度病院会計補正予算（第4回）■

委員 患者数の減少と、地域調査はしているのか。

事業管理者 耳鼻科・内科医の診療休止だけでなく、国の医療費抑制策により、受診回数を減らし薬は長期投与となっている。また、新型インフルエンザ対応により病床確保の必要性もあった。小野田地区と厚南地区と山陽地区が、およそ 5 対 2 対 1 の割合である。

（賛成多数）

事業収益・患者数ともに減を見込む

■22 年度病院会計予算■

委員 入院・外来が減ってくると病院経営が難しくなるが、医師不足が原因なのか。

総務課主査 医師が辞めたこともあるが、常勤医がいないことが大きな問題となる。これだけの患者を診ることは、残っている医師が非常に努力している。

委員 控えめな予算設定だがどうか。

事業管理者 古くなる建物は住民の心から次第に離れる。実態に即した提案をした。新病院の役割は労災病院を急性期病院として温存し、労災が取り扱わないマイナスの部分を市民病院が対応するような、高齢化を見据えた地域全体の望ましい医療連携が大事である。

委員 新病院建設の方向性はどうか。

事業管理者 新病院建設については、市民参加なくして行政だけでは成り立たない。

（全員賛成）



山陽病院跡地に建つ福祉施設

建設経済

一般会計

■22年度予算■

委員 資源再利用の目的で昨年廃食油でのバイオディーゼル車が一台であったが、今何台あるのか、また燃料代はいくらか。

環境衛生センター所長 現在16台でバイオディーゼル燃料は85円/ℓ、軽油は91.5円/ℓである。

委員 小規模土木事業はどのくらいあったのか。

土木課長 21年度で実施したのは37件で、残事業はカーブミラーを含めて66件あり、予算より申請件数が多いため実施まで3年程度かかる。

委員 市有林の状況はどうなっているか。

農林水産課主査 人工林の種類は主に桧と杉で樹齢は40～50年生が多く木の切りだしは80年を目標としており計画的な間伐を実施している。面積は旧山陽町で122ha、旧小野田市が12haである。

委員 これまでの市民祭りは、東沖の運動場、江汐公園、市役所周辺であったが、今後の方針はどうか。

商工労働課主査 江汐公園は子供や高齢者にとって交通の便が悪い。商業振興や交通の便を考えれば小野田駅前及び市役所周辺が、一番良いと考えて昨年は実施した。反省会でも次年度の開催場所は市役所周辺とし、日時は10月23、24日で決定された。

(賛成多数)

特別会計

収入を地域福祉に還元

■21年度小型自動車競走事業特別会計補正予算(第5回)■

委員 売上げが14億円減少した中で、1,000万円を積立てるより、赤字解消のために返済したほうがよいのではないか。

公営競技事務所長 喫緊の課題は赤字の解消だが、21年度は赤字の解消額を9,300万円と見込んでおり、現時点での予備費が9,000万円だから、この9,300万円は解消できる。また、1,000万円の積立は公営競技納付金の財源の確保と収入の一部を地域の福祉に還元するための事業にあてたい。

(全員賛成)

冷蔵庫を改修

■22年度地方卸売市場事業予算■

委員 取扱量が以前とくらべて減少しているが状況はどうか。

農林水産課主査 一番のピークは平成19年度で8億8,000万円くらいで、20年度実績は7億5,000万円、本年も見込みとしては同じくらいである。この主な原因は施設の老朽化によりフォークリフトや、冷蔵庫などが十分活用できない状況だった。今回冷蔵庫の改修で業者にも利用してもらい、また新たな業者にも参入してもらうよう取組む。

(全員賛成)

■22年度下水道事業予算■

委員 予算規模が以前に比べ縮小し繰入金も9億円に減額されているが、下水道事業に影響はでないのか。

下水道技監 予算的なものについては、これまで高利子で借りていたものを低利子に借り換えたので、その利息分の減額と、また一般会計からの繰り入れをせずに下水道独自で借り入れできるからである。

(全員賛成)



山陽小野田地方卸売市場

企業会計

■水道事業会計補正(第1回)■

委員 夜間納付はどの程度あったか。

水道局副局長 1日に4～5件くらいであった。

委員 水源涵養林の整備状況はどうなっているか。

総務課長 21年度は整備していない。予定では30haを考えており現在26.7haで86.7%の整備状況である。ここ2年水の売上げが落ちているので様子を見る。

(全員賛成)

総務文教常任委員会

平成22年2月1日と2日、行政視察をいたしました。

【宗像市立日の里小中一貫教育の取り組み】

平成18年、子供達の学習意欲の低下や中一ギャップなどの教育課題に対応するため、「小中一貫教育」に取り組むこととし、日の里中学校、日の里東小学校、日の里西小学校からなる「日の里学園」としてスタートしています。施設分離型ですが、市教育委員会や地域の支援のもと、指導体制の工夫や行事の見直し、時間を生み出す工夫などを重ねながら意欲的に取り組み、3年間の成果として、学力、学習意欲、不登校生徒数などの各種データや各アンケートなどから、学習理解度と意欲が高まり、中一ギャップの解消にも効果があったと聞きました。

【福岡市立照葉小中学校】

福岡市東区の博多湾に造成中の人工島に建設された小中施設一体型の新設校です。現在の児童生徒数は326名ですが、まちづくりの進行とともに毎年増加しており、将来的には1,200名程度まで想定して設計がされています。4ヘクタールの広い敷地の中に、職員室などの共用部分を中央に小中学校を東西に配置した3階建ての校舎は最新の設

備とともに、太陽光発電や雨水貯留タンクの地下埋設、内装材に木材を多用するなど、環境教育への取り組みも積極的に取り入れられています。カリキュラム上は小中連携校ですが、事実上は一貫校の運営がなされており、教育委員会の特別な計らいにより校長は1人となっています。



福岡市立照葉小中学校

【古賀市立学校給食センター】

古賀市では昭和45年から給食の共同調理場を始めており、今回視察した施設は平成10年3月に総工費15億円をかけて新築された、フルドライシステム、9,000食の調理能力を持った給食センターです。現在は、市内小中学校の児童生徒と教師あわせて5,521人分を18名から21名の人員で賅っています。また、平成21年度から民間委託を開始し、約6,000万円の経費削減になったとの説明を受けました。

民生福祉常任委員会

平成22年2月1日から3日にかけて行政視察をいたしました。

【知多市：東海市との病院経営統合】

知多市、東海市ともに医師数や病床利用の減少といった課題を抱えており、知多市側は約4億円、東海市側は約3億円の純損失と赤字が増大したことを背景に、統合にむけた協議会が設置されました。新病院の規模は450～500床で、場所は両市の境目に建てられるそうです。ただ、建設費用に200億円かかることや現在の病院の償却年数が10年以上残っていることなどから、市民の合意形成が図られているのか心配いたしました。

【川西市：子ども部創設の経緯及び事業内容】

従来の縦割りで進めていた「子ども関連施策」について一体化を図り、より効果的で総合的な政策の推進を実現することを目的に、平成20年度「子ども部」が創設されました。庁舎内に子どものプレイルームが設置されており、相談員の対応もてきぱきとし

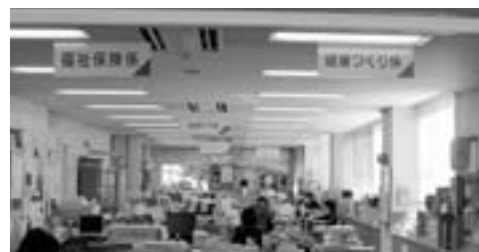


市役所内にあるキッズコーナー

ていました。また、子育て自主グループへの支援や情報提供が充実しており、まち全体で子育てをする環境が整っていました。

【尾道市：公立みつぎ総合病院の事業概要】

みつぎ総合病院は、御調町を中心に約7万人を診療圏域とする病院で、医療・保健・福祉が一体となった「地域包括ケアシステム」が構築されていることが特色です。このような地域完結型の病院は患者の要望に即しており、そのことが黒字経営につながっています。本市の新病院建設に関する中間答申に「保健・医療・福祉センター的機能を有し、市民が利用しやすい施設も必要」とありましたが、みつぎ総合病院のような形態がこれからの病院経営の参考になるのではないかと考えます。



みつぎ病院内にある健康管理センター

防災対策はだいじょうぶか

中村 博行 議員

議員 昨年7月21日の厚狭地区の豪雨災害について、駅南地区での悲惨な状況は周知の通りだが、同時に厚狭川の東対岸に位置する東下津・迫山地区も同様に災害にあわれた。当日朝の対応と狭間川のポンプ等の通常点検業務に問題はなかったか。

建設部長 厚狭川上流の美祢市で過去に例のないゲリラの豪雨があったとの情報が全く入っていなかったことが原因の一つで、短時間に急激な厚狭川水位の上昇があったもの。ポンプの点検については毎月実施しており、東下津の排水機場も異常はなかった。

議員 狭間川のポンプの能力についても問題があるようだが、本市には能力不足で安全とは言えない箇所がどのくらいあるか。

建設部長 厚狭地区に2ヶ所、小野田地区に3ヶ所あり、厳しい財政状況の中で現在のポンプをいかにフル回転させるかだ。生活・財

産・人命を守るため日夜ポンプに神経をとがらせて、1分1秒を争うことなので十分管理していきたい。

議員 大正川のポンプ増設が予定されているが、それに伴い東下津・迫山地区などの厚狭川下流地区では水位が上がるという心配があるが、その対策はどうか。

建設部長 厚狭川下流について、県が該当箇所の改修を来年度から施工すると聞いている。護岸の改修は迫山地区の市道他で河川の浚渫も行いたいと聞いている。

市長 護岸整備については、県との約束では22年度の県の予算に何らかの手当てがなされるはずだ。

包括的民間委託した オートレース事業

議員 日本トーターと

の契約内容の状況と交付金の返済計画はどうなっているか。

公営競技事務所長 契約の配分金として売上額の0.8%、もしくは1億1,000万円を市の収入とすることについてはおおむね順調に推移している。猶予されている交付金9億6,900万円については22年度から29年度までで返済していく計画になっている。



狭間川排水機（手前は厚狭川）

山陽小野田市民憲章について

石田 清廉 議員

議員 市民憲章が制定されて早3年になる。市としての具体的な取り組みが何ら見えない平成17年新市誕生後「人が輝く心豊かなまちづくり」を目指す基本目標を実践するために新しい市民憲章の制定に向けての市民運動が立ち上がり、平成19年3月新しい市民憲章が制定されたが残念ながらまだ旧憲章碑のままで市民にも認知されていない。来年は山口国体の競技が本市においても開催され県内外から多くの来訪がある。市としてぜひとも前向きな取り組みが必要ではないか。

総務部長 現在市民団体25からなる「山陽小野田市民憲章推進協議会」が設立され市もその一員として参加している。今後新しい憲章碑の移設をはじめ市民に対しての普及啓発に協議会と連携して取り組んでいく。

市長 新市誕生後5年になる。苦しい財政状況、余裕のない中で

対応が遅れていた。今後協議会との協議をしながら来年3月を目標に憲章碑等の新設を目指していく。

本市における省エネ対策の 取り組みについて

議員 本市においては省エネ対策、環境問題等の具体的な取り組みはされているのか。

環境経済部長 平成20年8月に市民、事業者、民間団体の代表で組織する「地球温暖化対策地域協議会」を設立し温室効果ガスの削減に取り組んでいる。その他環境問題の啓発事業の推進もしている。

議員 今日までの取り組みの実施状況と成果はどの程度のものか実感としてない。省エネ対策は様々な取り組みがあるが特に今話題の発光ダイオード(LED)照明器具使用による節電効果は約5分の1以下、二酸化炭素削減は70~90%また器具の寿命は通常器具

の10倍以上である。初期費用は高くつくが長期ランニングコストは大きな経費節減につながりそのメリットは多大である。今後様々な公共施設等への導入を検討してみてもどうか。市民が環境問題に関心を持ち全市的な取り組みをして行くためにも行政がまず範を示すべきではないか。

環境経済部次長 本市では、太陽光発電設備を設置することと、庁舎内に省エネ型蛍光灯を設置する予定にしている。



小野田駅前ロータリーの市民憲章碑

命を守ることは政治の使命です

吉永 美子 議員

とっても低いわが市の受診率

議員 今月末まで実施される、乳がん・子宮頸がん無料クーポン券配布事業による検診受診率向上の見込みはどうか。

市民福祉部長 乳がん検診が 472 人の増で受診率 13%、子宮がん検診が 415 人の増で受診率 11.1% 程度を見込んでいる。

議員 来年度の実施について、どんな点に留意するか。

市民福祉部長 6月から3月まで実施する。集団検診を1日増やし、土日に実施して受診しやすくする。

議員 日本では 12 歳女子に子宮頸がん予防ワクチンを接種した場合、発生を年間 73.1%減らせると試算されているが、ワクチン公費助成への考えはあるか。

市民福祉部長 接種費用が高価なので、市独自で軽減措置を講じることができるか研究したい。

「介護総点検」の結果を踏まえて

議員 介護施設の入所待機者解消策のために、事業計画は実効性のあるものとなっているか。

市民福祉部長 第4期計画(21~23年度)については、中学校区別に設定した日常生活圏ごとのサービスの均衡を図るための施設整備を行い、待機者の解消を図る。

家賃をもらっているのだから

議員 市営住宅の家賃収入は、年約2億5,000万円との回答が12月議会であった。市営住宅整備を進めるため、基金条例の制定を提案する。

建設部次長 今少し、内部協議が必要である。条例制定に向けて実施できるように努めたい。

市の顔を魅力あるものに！

議員 市のホームページを来年度全面リニューアルするとのこと

だが、災害に遭った時の支援制度を掲載するよう提案する。

総務部長 できるだけ掲載するよう努めたい。

議員 キッズページと子ども市議会の録画を掲載するよう提案する。

企画政策部次長 子ども市議会を流すのはできるが、キッズページは教育委員会と協議していきたい。

目指そう！観光立市

議員 観光協会の事務局は、市役所を飛び出し、駅や大型商店など人々が多く交流する場に設けるべきだと思うがどうか。

環境経済部長 将来的な課題として、観光協会の独立も視野に入れながら、事業を支援していきたい。



賑わった竜王山さくらまつり

歴史・文化財を生かした教育文化観光都市をめざして

河崎 平男 議員

資源活用を

議員 山陽小野田市には先人の残された数多くの歴史・文化財・遺産や美しい風土がありながら眠らせたままになっている。教育・観光・文化面の資源活用ができないか。

教育長 市内の指定文化財は国指定では史跡、建造物、登録有形文化財の3件、県指定の文化財15件、市指定文化財24件、合計42件、703点の指定文化財がある。文化財の紹介については、市の観光パンフレットやホームページへ掲載、行事や一般公開時の広報紙の掲載等により市内外に紹介・活用している。

このまちしかないもの

議員 「日本一」的的文化財やこのまちしかないもの、埋もれた資源についての考えはどうか。

教育長 市内には指定文化財のほか、

昔から地域に伝わる伝承行事や古くから伝わる民話伝説などが数多くある。また現代ガラス展の開催やきららガラス未来館を設置しガラスのまちとして全国に向けて発信している。資源の発掘については、文化財審議会の意見を聞き文化財の保存、管理、新しい文化財の発掘に努めている。

国体の進捗状況は

議員 「おいでませ山口国体、おいでませ山口大会」の進捗状況はどのようになっているのか。

国体室長 本市の引き受け競技はサッカー・ゴルフ・軟式野球の3競技である。次に実施本部を5月中旬に立ち上げる予定である。また宿泊の受け入れ態勢は本市と近隣市で対応する。おもてなしについては、花いっぱい運動、清掃活動等きらめきサポートに対しては接遇指導によるおもてなしの心の醸成を図っていく。経済効果は

6,100万円を見込んでいる。

まちおこしの提案

議員 わがまちには、日本一、準日本一など、有形、無形にかかわらずたくさんの資源がある。例えば伝説寝太郎等のまち、あさ(厚狭)からめがでる(目出)まち、火薬町、硫酸町、セメント町などめずらしい地名をまちとして全国発信してみてもどうか。

副市長 市民憲章には「私たちは先人の心を受けとめ」とあり、まちおこしをするには、歴史、風土、地形等十分利用しながらそれを反映しなくてはいけないと考える。



(伝)寝太郎物語の像

義務教育は無償である 就学援助制度の拡充を

中島 好人 議員

議員 子どもの貧困は、現在社会問題となっている。就学を保障するセーフティネットとしてこの制度は重要だ。対象を生活保護基準の1.3倍から1.4倍に拡大、支払いも3回から宇部市のように毎月支払いにすること。また、お金のかかる入学時に入学準備金を一時立て替えてはどうか。

市長 拡大については検討する。しかし、他に回せる民生費その他を削除せざるを得ない。

議員 教育と福祉だけを比較するのではなく、不急不要の事業を見直すべきではないか。

教育部長 毎月支払いは、概算支給になるので未納が発生する可能性があるのですが予定はないが回数増加については検討する。

国保証の未交付は違法 郵送を含め早期解決を

議員 国保法第6条は「保険者は、世帯主に対して被保険者証又

は資格証のいずれかを交付しなければならない」としている。1月末で短期証63人、資格証は438人が未交付となっている。厚生労働省の通知でも無保険者の早期解決を指示している。秋田県や石川県では、1ヶ月を過ぎたら郵送しているが当市はどうか。

市長 客観的には違法状態だ。その原因をどちらが作り出しているかというのも問題だ。

4人世帯、所得300万円で 国保料53万6,970円

議員 所得の18%もする国保料だが市長は高いと思わないか。

市長 高いと思う。分納とかで相談に応じている。

議員 短期証は、直ちに郵送を、資格証については、払えるのに払わない人に限るべきではないか。

市長 言われるとおりだ。払えるのに払わないかどうかその1点だ。その1点で電話で連絡してく

れば郵送する。

青年の居場所づくりを

議員 「子ども・若者育成支援推進法」による支援地域協議会を設置し、青年を支えるセーフティネットの構築をすべきではないか。

市長 法については、理解がまだ不十分だ。内部で協議して、この法の趣旨が生かせるようにする。



市民が主役のまちづくり

松尾 数則 議員

住宅耐震化促進事業について

議員 耐震化促進事業の利用率はどうか。

建設部次長 高額な経費や構造体の変更を伴う等の理由により利用率は低い。

議員 広報活動についてはどうか。

建設部次長 広報の利用、建築士会の研修会等機会があれば実施をしていきたい。また、固定資産税減税のメリットもある。

女性職員の管理職割合

議員 山陽小野田市の女性職員の管理職割合はどうか。

総務部長 女性管理職は12.3%である。前年度から2.6ポイント上昇した。

市長 2, 3階級特進するポジティブアクションも検討する。

再雇用制度について

議員 退職者の再雇用について

の考えを問う。

総務部長 定員適正化計画を踏まえ、新規職員採用を優先したい。

市長 財政上の問題で再任用は見送っている。

中山間地の振興について

議員 中山間地に係わる補助制度について問う。

環境経済部次長 担い手不足や高齢化等を踏まえた、中山間地域等直接支払制度や農地・水・環境向上対策事業がある。

議員 それらの制度を統合する山陽小野田市方式を作ることは可能か。

環境経済部次長 財政的に難しい。

企画政策部次長 中山間、都市部の交流を密にし、全体で良い環境を築くこと



中山間地の状況

が大切だ。

市長 中山間地域の活性化については重要な課題でこれからも研究したい。

国民体育大会について

議員 国民体育大会について準備状況はどうか。

国体室長 国体実施本部を5月中には立ち上げる。

議員 国民体育大会開催時の道路の混雑状況の予測はどうか。

建設部長 一部混雑状況が生じる可能性はある。

議員 科学博覧会(仮称)の詳細について問う。

教育長 産・学・公連帯した地域特性相まった科学分野に特化したイベントとしたい。

議員 山口大学等宇部市の研究施設と協賛を考えてはどうか。

教育長 今回は山陽小野田市の中で特色のある試みとしたい。

市長の施政方針を問う

下瀬 俊夫 議員

議員 合併特例債活用の市民会議では、財政計画も出さず執行部提案の是非を決めるだけの市民参加のあり方は疑問だ。

企画政策部長 新たな市民参加の手法として市民会議を開催し、市民の目線で貴重なご意見を得た。

貯留槽の建設は 地元住民の合意を得て

議員 山陽浄化センター横の300tの貯留槽建設は特例債事業なのに市民会議の説明と違うし、なぜ事前に地元合意を得なかったのか。また、現地は廃坑の古洞等もあり適格性が問われる場所だ。

環境経済部長 地盤問題は認知していなかったが、ボーリング調査などで十分対応できる。

建設部長 隣接のポンプ場建設時に湧水などで大変苦労した。

録音テープも文書管理の対象に

議員 録音テープが消去され、

市民会議の議論の経過が不明だ。文書管理規程に録音テープを入れなければ、情報公開条例も役に立たない。

企画政策部長 テープは補助的なもので消去しても文書管理上問題はない。

戦略的な機構改革で 「子ども部」創設を

議員 少子高齢化は多くの自治体の焦眉の課題だが、タテ割り行政の弊害をなくし、重点戦略として位置付けている「子ども部」を創設してはどうか。

総務部長 戦略的な機構改革というテーマは指摘の通り。今後検討したい。

山陽総合事務所に農林課を移しては

議員 今回の機構改革で若干の予算配分もされるが、山陽地区活性化のためにも農林課を山陽総合事務所に移してはどうか。

総務部長 今後の検討課題である。

自治会事務費補助金は 適正な送金処理を

議員 自治会長個人口座への補助金の振り込みは、違法性が高いのではないかと。

監査委員 342自治会のうち個人口座への送金は5件ある。今後は自治会長名義以外の口座には送金しないという方法がある。

住民監査請求など ホームページの改善を

議員 「住民監査請求」などの説明や方法など、市民がもっと理解しやすく改善できないか。

監査委員 ホームページの改善を行いたい。



少数精鋭スリムな市役所をめざして

岩本 信子 議員

議員 提案型公共サービスの民営化の検討はどうか。

企画政策部次長 行政改革アクションプランにあげているが、まだ検討の域をでない。事務事業の評価が基になるので、21年度決算の後に具体的に取り組みたい。

議員 定員適正化計画において適正とする判断基準はどうか。

総務部長 民営化等の計画を待っているのは定員適正化計画ができない。現状の事務事業に見合う計画を策定し、民営化のスケジュールが明らかになった時点で見直しを図る。各部署の業務実態を精査し、他市も参考にしながら必要とする適正な人員を把握する。

議員 スリムな行政経営体としての考えはどうか。

企画政策部次長 スリムで効率的な組織体制を目指すには、職員の意識改革や研修・研鑽が必要、行政改革に関する情報を積極的に発信し職場風土の醸成を図る。

学校給食は食育推進 基本計画に合わせて

議員 23年度まで作成しなければならぬが現状はどうか。

市民福祉部長 プロジェクトチームで素案づくりをしているが、新年度に大学講師・食生活改善推進員・栄養士・市民公募等で協議会を立ち上げ、特色ある推進計画を策定する予定である。

議員 関係各課の横断的取り組みはどうか。

市民福祉部長 食育推進には、各課の協力は不可欠、食育推進プロジェクトチームには、教育委員会、企画、農林水産、商工労働、環境、市民活動推進課で構成して毎月検討会議をしている。

エンパワーメントを高める 「女性の日」をめざして

議員 「日頃裏方を引き受けることの多い女性に感謝」は差別意

識を容認するように聞こえる。「自分らしく、自分らしさ」を自信持って表現できる自由な心と思いやり、そして「自己決定・自己責任」の意識啓発が大事である。再考はどうか。

市長 「より一層女性の人権が尊重され、性差別のない社会を目指して一緒に頑張りましょう」が女性の日を作る趣旨だ。4月以降意識調査のアンケートを実施する予定である。前向きに検討する。



女性 男性
女と男の21世紀

女と男(人と人)、異なる個性とそれぞれの思い…。これらを結びつける「and」という言葉。たった一字だけで、そこからとんとんつながって、広がっていく力を感じます。
英語にすれば「and」。このandに英語を添えて、男女共同参画社会づくりをめざす山陽小野田市のシンボルマークにしました。

男女共同参画
シンボルマーク

産廃処理場建設計画に反対し、市民のみずがめを守れ

山田 伸幸 議員

議員 厚東川ダムの上流部に産業廃棄物処理場建設の動きがあることがわかり、現地の住民などから反対運動が起きている。県は計画業者に対して、小野湖関係者の同意を求めているが、山陽小野田市は、小野湖関係者として自覚があるか。水源保護条例の制定が必要だ。

環境経済部次長 産業廃棄物処理施設の設置許可は県の所管。県の指導要綱の中で、関係地域の決定は立地環境調査結果に基づき、環境保健所長が決定するようになっており、現段階では、事前協議書はまだ提出されない。小野湖の水を水源としている市としても重大な関心を持っている。水源保護条例は、水の安全を守る重要な条例だと思うが、市の水道水源の大部分は他市にあり、条例制定については、さまざまな検討課題がある。

議員 県の指導要綱では、関係者の同意がなくても地権者が同意

を得ようになっている。地権者が同意したあとでは、市が反対とは言いにくい。早めの情報収集と毅然とした対応が取れるか。

環境経済部次長 正式な事前協議というものは、見ていない。内容についても知らないので、今後の推移を見たい。

住宅マスタープラン再考を

議員 住民マスタープランでは、叶松市営住宅が用途廃止となっている。地元から改修要望が出され、市は住宅マスタープランで示すと答え、住民は改修の期待をしていた。地元はこの方針に反対だがどうか。

建設部次長 地元にはこれから相談していく。用途廃止の方針で徹していく。

議員 住民は、自ら住環境の整備など行い、抜本的な改修に期待していたが、用途廃止となれば新規入居者が無くなり、若い人がド

ンドンいなくなり自治会運営にも支障をきたす。用途廃止の話は事前に相談もなくひどいやり方ではないか。

市長 事前に各地を回っているはずだが相談がなければ半年、施行を伸ばしてやり直すことにする。その間に各団地を回って話を聞く。



小野湖上流部の産廃処分場建設予定地の近接溜池

民間発想で水道局の改革を

河野 朋子 議員

議員 水道局の給与の手当は市長部局と違いがあるがどうか。

水道事業管理者 水道事業の特殊性も御理解いただきたい。現在関係団体と鋭意協議を進めている。

議員 理念を掲げた上で、交渉すべきだ。交渉の中身ではなく、どのように取り組んでいくのか明言すべきではないか。

水道事業管理者 具体的な答弁は差し控えたい。

議員 局長としてどういうスタンスで臨むのかは、むしろ市民に知らせるべきだ。県内でも半数以上が企業手当を廃止しており、客観的にもその必要性は認められないと思う。特殊勤務手当の見直しについて、12月議会で4月の給与に反映できるように交渉したいと答弁をされたが、4月の予算に反映されて

いないのはなぜか。

水道事業管理者 現在交渉中なので予算に反映できない。

議員 議会で明言されたことは、その重みをしっかりと受けとめてほしい。いつ見直しができるのか。

水道事業管理者 具体的にお答えできない。

全市的な校区の見直しを早急に

議員 望ましい学級規模・学校規模について、19年に「適正規模・適正配置の基本方針」で示されたものと広報に提示されたものが違うのはなぜか。

教育長 現状を勘案すると基本方針に示しているものになるが、広報には純粋に理想形として示したものである。

議員 議事録には討議の経過がなく、調査研究すべて見たが1学級の人数が10人から20人が望ましいという結論を導き出すことも

できなかった。正式な議論の場や明確なデータの根拠なしに、望ましい人数や学級数を具体的に挙げ、今後の目標であるとのことで、市民は混乱するのではないか。教育委員会として過小規模校への解決策はどうか。

教育長 過小規模校は教育において適切ではないとは、国のデータからはすぐには言えないと考えている。今後の方針は横の統合だけでなく、通学区域を弾力化するか、小・中一貫という縦の統合もある。

議員 厚陽小・中学校はせめてクラス替えができる規模にするためにも、市内全ての校区について見直しを早急に取り組むべきだと思うが、その予定はないのか。

教育長 今後校区の柔軟化は必要だ。厚陽小・中の場合、校区をきちんと決めるというのではなく、何らかの柔軟化等、開校までに議論しなくてはならない。



環境の取組強化を！

衛藤 弘光 議員

環境衛生センターの精密機能検査結果

議員 精密検査の総合所見はどうであったか。

環境経済部次長 適切な補修修繕がされていないため、建屋及び煙突、主要設備の抜本的な補修が必要となっている点や、1 炉当り 40 トン 16 時間の焼却能力以上の厳しい運転をおこなっており、現有施設での対応は困難であり施設の更新が望ましいという指摘があった。

議員 煙突の補修・点検をするよう指摘されたが、私は平成 19 年 9 月議会で点検の必要性を指摘した。今回も指摘されたがどうするのか。

環境経済部次長 計器での精密な検査を含めて検討する。

議員 工場内の重油 10kℓ タンクの地盤沈下があり、指摘したが消防本部の予防課で調査された結果はどうであったか。

消防長 3 月 3 日に予防課で調査したが、消防法上の違反はなかった。ただ環境衛生センターの敷地全体が地盤沈下しており、重油タンクの防油堤の一部が 10 cm ぐらい沈下している。地盤沈下が進めば設備に異常をきたすので、地盤沈下部分の詳しい調査をして補修等の対策をとるよう 3 月 4 日に指導した。

学校の建替え校舎に太陽光発電システムと雨水タンクの設置

議員 地球温暖化対策として、また、子供たちの環境教育の一環として厚陽小・中の校舎建替えに、県内の公立学校に設備されていない、太陽光発電システムと雨水タンクの設置を検討できないか。

教育部長 厚陽小・中一体型校舎の基本構想には地球温暖化対策と環境教育の実現を目指した環境負荷の低減や自然との共生を考慮した学校施設づくりを目指している

ので検討したい。

栄町の交差点

議員 県道と市道交差点の信号機の点灯時間が市民館や体育館などでイベントがあった時の帰りは、渋滞がひどい。来年の国体までには自動調整できる方法を検討できないか。

総務部長 国道の幹線道路は集中制御できるが、県道・市道の個別の対応は難しい。しかし、国体という趣旨のもと市としても強力に要請したい。



環境衛生センター

病院バスの継続を！！

伊藤 武 議員

議員 バス運行廃止は、唐突だ。山陽地区総合病院廃止代替措置だが、差別・格差拡大方針を撤回せよ。

病院事業管理者 病院跡地へ内科系の医療機関開院で、必要性はない。公費の直行バスは民業圧迫で開院すれば、直行バスの運行は終了する。

格差排除の施設整備を

議員 各小学校区へ児童館・福祉会館・屋内体育施設を建設されたい。

企画政策部長 格差解消へ向け消防救急の通信指令施設統合や消防団の車両を整備し、山陽消防署基金造成を計画中だ。児童館は、児童館建設検討委員会で、検討する。各地域の施設整備は、年次的に進める。

安心安全な通信網整備

議員 利用者減少で財政面、老

朽化により安心・安全な連絡網体制の一番大事な有線放送が危機的状況だ。地震風水害から市民の安全を守る伝達方法で、速やかに危険を市民へ知らせる方法として全市的なケーブルテレビジョン方式を導入されたい。

企画政策部次長 ケーブルテレビジョンは、単なるテレビ視聴だけでなく、インターネット、双方向の情報通信基盤、行政情報や防災情報の提供も可能だ。急速に変化し、進歩している高速通信システムに対応するため、庁舎内組織で地域情報化推進検討プロジェクトを設置し、ケーブルテレビを含め、検討している。

新幹線厚狭駅関連事項

議員 ①新幹線停車の行政認識②「ひかり号」停車への運動③駅前広場利用の弾力化④市営駐車場利用料金の緩和⑤南北通路等フリー通行対策の 5 点について問う。

環境経済部長 ①本市の大事な玄関口と認識している。②「ひかり」停車運動は県を通じて JR 西日本へ要望、陳情を繰り返している。

建設部長 ③利用しやすい駅前広場全体の見直しを今後行っていく。④駐車料金は、起債完済以降に適切な料金設定を検討する。⑤通行フリー化は、困難な情勢だ。



交通弱者に向け改善が求められる駅前広場

埴生地区の拠点形成を

三浦 英統 議員

議員 埴生地区の公共施設は老朽化が激しいが、埴生公民館、青年の家、福祉会館等を併設した複合施設の計画について問う。

教育長 埴生地区の核について、総合的な組織のあり方、総合的にはどういうものが望ましいか、また、地域の方々がどのように望んでいるか意見を聞き今後検討していく。

農家と市が農地を守る

議員 農地の面的集積のため、農地利用集積円滑化事業が創設され農地利用集積円滑化団体となる市の今後の考え方はどうか。

環境経済部次長 市や農協等が農地利用集積円滑化団体となり、農地の所有者から委任を受け代理として農地の貸し付け等が行える。この事業の実施にあたり、県の農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針の変更に伴い、市は農業経営基盤の強化の促進に関する基

本構想の変更を3ヶ月以内に見直さなければいけない。今後関係機関と協議していく。

耕作放棄地の解消の取組強化へ

議員 耕作放棄地の調査を実施したが耕作放棄地はどの位あり、この解消のため国の事業である再生利用事業の取組状況はどうか。

環境経済部次長 農業委員会で調査した結果、耕作放棄地は250haあり、昨年耕作放棄地対策協議会を立ち上げ、解消として国の事業、耕作放棄地再生利用事業により埴生干拓地区で3ha事業実施したが、今年度も2.5ha計画している。

公共交通空白地域への運行を

議員 山陽小野田市地域公共交通総合連携計画による山陽地区の地域内移動サービスの見直しにより、ねたろう号は梶方面、津布田方面に延伸運行が行われたが、交通空白地区の大持地区への延伸運

行はできないか。

環境経済部長 いとね号の大持地区の延伸運行は、市生活交通活性化協議会で協議されたが、福田地区の児童通学への影響、運行距離の延長により、現在の回数を減少せざるを得ない等の理由で現行の運行を行っている。今後は利用者の動向や路線の効率性を勘案しながら、公共交通空白不便地域への運行を検討していきたい。



国の耕作放棄地再生利用事業によりよみがえった農地

行政格差の解消に努力する

硯谷 篤史 議員

議員 現状の行政サービスのあり方に物申すとして、山陽地区に、住民自らが「まちづくり会議」なる組織を立ち上げたが、当局としてはどの様に受け止めているか。

企画政策部次長 今の時点で、新聞報道の情報しか持ち合わせていないが、市の一体感不足の表れではないかと反省すべきところもある。今後とも、その点については気を付けて連携強化に努めていきたい。

太陽光発電に助成を

議員 エコロジカルなまちづくりを推進する一環として、太陽光発電に対して国、県に続いて、市も独自の助成をしてはどうか。

環境経済部次長 2009年度、県内では5市が助成し、来年度は6市になると聞いている。本市では昨年10月から12月にかけて実施した住宅リフォーム助成事業で、太陽光発電装置も対象とし、70万円

以上の工事については10万円を助成した。温暖化対策に有効な設備であり、他市の状況や当市の財政状況を考えながら検討する。

学校建設に木材の活用を

議員 新設予定の厚陽小中学校ではエコ教育への積極的な取り組みを期待する。

国の補助メニューには文部科学省・農林水産省・経済産業省・環境省の連携によるエコスクールパイロット・モデル事業があるが、これに応募してはどうか。

また、木材の特質を活かした温かみのある学校を造ってもらいたい。

教育部長 エコスクールの整備促進に関するパイロットモデル事業には様々な事業メニューがあるので今、検討している。

木材の使用については、木の持つ柔らかさ、温かみ、室温変化の緩和など長所は多く、市有林の利

用も視野に入れながら積極的に検討したい。

環境経済部次長 森林との共生、低酸素社会の実現に木材を使用することは有効な方法だと考えている。今後関係部署に要望していきたい。

大雨情報にご注意を！

議員 桜川と大正川の合流地点に大正川排水機場がある。ポンプが一基しかなく、昨年大雨の際に広瀬地区から下村東、寝太郎町地区が冠水被害にあった原因だとされている。もう一基増設されるそうだが、これで冠水被害は防げるのか。

建設部長 昨年並みの大雨が降れば冠水は避けられないと思う。



大正川排水機場

教育環境の充実が不明瞭なのに 市民の血税 24 億円が使われる？

伊藤 實 議員

議員 厚陽地区の説明会で小中一体型連携校になれば先生が増えると説明されたようだが増えるのか。

教育長 一体校としては増える。そのため、小規模中学校のデメリットのひとつである同一教科の先生が複数いなくて研修が進みづらい環境はよくなる。小学校と中学校を別々にみれば、先生が増えることはない。

議員 小中連携、少人数学級は大賛成であるが、先生が増えない状況下で厚陽小中連携校をどのように運営するのか。

教育長 小中一体型連携校最大のメリットのひとつは、小学校の先生と中学校の先生が同じ職員室になるかどうかかわからないが、日々顔をあわせながら、話をしながら教育にあたることである。

議員 教育委員会はいつも後からソフト面を考える。今回も現場の先生、保護者への説明もほとん

どしていない状況である。先日、福岡に総務文教委員会で視察に行ったが、市費で先生を雇用しないと連携教育は難しい現状であり、本市でも、現在、年間1、2回の小中連携交流がされているが、小中一体型にすることで具体的にどの様になるのか。

教育長 例えば、中学校の先生が日常的に小学校で授業ができるかどうかは、免許上の問題。いろいろな問題がある。すぐにそれができるのかと言われれば即答できない。今後検討しなければならない。

先送り！ 厚狭小、厚狭公民館、 埴生支所…？

議員 厚陽小中連携校建設に24億の予算案だが厚陽中の生徒数57人から換算すると生徒一人当たり約1,000万円、仮に3中学統合であれば生徒一人当たり約250万円で4倍のコストをかけてまでする理由がわからない。厚陽

小中と同様に埴生中、厚狭中も老朽化が著しく、厚狭小もIS値0.3以下なのに耐震補強工事ですましている。また、年間2万人利用する老朽化している厚狭公民館は耐震診断すらしていない。埴生支所、埴生公民館も同様である。なぜ、多くを先送りにしてまで厚陽小中連携校建設に莫大な血税を使うのか根拠を再度問う。

教育長 コスト意識だと日本の教育、市の教育施設はがたがたになる。教育における視点はそこにはない。



老朽化した厚狭公民館

企業誘致の促進を！

平原 廉清 議員

議員 当市の過去5年間の新たな進出又は増設の企業数と場所はどうか。

環境経済部長 新規企業立地件数は2件で、立地場所は1件が新山野井団地、1件が大字小野田地区内である。また、既存企業の増設は、市工場設置奨励条例の規定に基づく要件を満たした件数は9件で、山野井団地1件、新山野井団地2件、小野田地区内に6件である。

新規立地の市税効果 年間6,000万円！

議員 新規立地や増設による市税はおよそいくらの増加か。

環境経済部長 新規企業の投下固定資産総額、操業時従業員数から理論上の一定数値を利用して市税効果を算出すると、各税目の1年間の最高値の合計で約6,000万円と推計する。

議員 今、小野田・楠企業団地が売れたとしたら、土地の固定資

産税だけでどのぐらいか。

環境経済部長 価格を平均2万5,000円としてその価格で単純計算をすると、約6,100万円である。

市長 市の行政として、最大限力を入れなくてはならない課題の一つである。

議員 山陽、小野田両商工会議所等との連携の現状はどうか。

環境経済部長 両者とは、既存企業に対する随時の情報交換に努めているほか、山口東京理科大学と地元産業界の連携強化にも取り組んでいる。



小野田・楠企業団地

開校までのスケジュール

議員 厚陽小中連携教育校の開

校までの、ハード面、ソフト面のスケジュールはどうか。

教育長 22年度中に基本計画、実施計画を立てる。23年度中に建設工事、何も問題が起きなければ、最短24年度中に開校する。ソフト面では、学校教育目標を9年間というスパンで見直すこと、小中学校で共通実施可能な学校行事を無理のない範囲で抜き出すこと、生活指導や学習規律の共通理解を図ること、施設利用についての共通理解と振り分け等を行うことなどである。

赤地道の解消を

議員 厚陽中学校校地内に赤地道があり、通り抜けの一般車両が通っていて危険。新校舎建設に併せて付け替えなどして、安全を確保して欲しい。

総務部長 赤地、青地道など法定外の公共物は、つけかえという措置をとる。

安心して住めるまちづくりを

矢田 松夫 議員

まちづくりの核はどこか

議員 基本計画では、JR 厚狭駅中心をまちづくりの核とされているが、駅の南北か、商店街か、旧山陽町役場周辺なのか。まちづくりの使命や戦略が乏しいのではないか。

企画政策部次長 駅南部土地区画整理事業地を中心とした商業機能や居住地の誘導を図り、商店街再生により核をつくる。現状では核となるまちの連携が弱い。

議員 合併して5年。老朽施設3点セット（旧山陽町役場・厚狭公民館・厚狭図書館）としたプロジェクト会議をつくり、まちづくりの核をつくる論議をする時期にきたかどうか。

企画政策部次長 行政主導の会議は考えてない。

副市長 山陽地区のまちづくり会議については、動向を注視しておく。

山陽総合事務所の

住民サービス低下は

議員 平成 19 年から半数に定員削減され、さらに課から室になるが、住民サービスの低下にならないか。

総務部長 中山間地域の拠点として名称の変更をした。課と室は同等である。今年度の早い時期に定員適正化計画を改定する。

議員 山陽総合事務所が簡易な「支所」となり将来なくなることはないか。

総務部長 名称を「総合事務所」にしてきたが支所業務的なことしか携わっていない。今後は、山陽地区全体を中山間地域の拠点として位置づける。

議員 「室」の中に権限や予算を持たせた農業関係事務をさせるべきだ。

市長 22 年度に入り検討する。

高齢者の交通安全対策

議員 65 歳以上の運転免許証返納制度を市広報等で周知するべきだ。

総務部長 市広報の掲載や啓発、支援企業の拡大を強力に進める。※市広報 4 月 1 日号参照

議員 運転免許証の自主返納者へ市刊行物についても割引をするべきだ。

総務部長 町史・市史は半額であるが、さらなる割引については検討をする。



総合窓口設置求む

尾山 信義 議員

各種申請手続きを一箇所で

議員 機構改革組織条例の改正により市民主体の行政サービスを図るとあるが、ワンストップサービスの面からも、一カ所の窓口で手続きが完了する総合窓口の設置は考えられないか。

総務部長 全国の自治体でも窓口一元化はまれである。同じ部内で窓口一元化は可能かと思われるが、スペースや多額な費用がかかるので直ちに設置することは考えていないが、検討課題とする。

高齢者や障害者に優しい申請手続き

議員 各種申請用紙の行政用語を抑え、高齢者にもっと優しく、わかりやすい表現の活用はできないか。

総務部長 法律で使われている用語をそのまま引用している、今後申請される人の立場に立って、理解しにくい用語には注釈をつけ、

申請されるときには用語の説明をするよう担当課に指導していく。

議員 高齢者や障害者にとって、申請手続などは非常に難しい。民生委員さん方の共同体制の強化を図り、誰もが平等なサービスを受けられる体制づくりはできないか。

市民福祉部長 福祉・介護等のチェックリストに基づいて現在説明等を行っており、課をまたぐ横の連携体制づくりも行っている。民生委員協議会等の中で福祉制度についての内容説明をしていき、誰もが平等なサービスを受けられる体制づくりに努める。

市内業者の受注拡大

議員 市内業者優先発注について、「違法にならないぎりぎりまで煮詰める」といわれたが、その後の経緯はどうか。

監理室長 市内業者が少数の場合であっても適正な競争性が確保さ

れると判断すれば市内業者のみで入札し、柔軟な運用を行い、市内業者の受注機会を増やしている。

学校給食とは

議員 子どもたちに食を与えるだけの共同調理場方式（センター化）、子どもたちに政治的配慮のない合併特例債の活用についてどう考えるか。

教育部長 施設の老朽化や衛生面等、既存調理場の抱える課題を合併特例債で早期解決したい思いから出したもので、いまは政策形成過程にある。



各種手続説明書（他多種あり）

ロケ地誘致で「まちおこし」を！

大井淳一郎 議員

議員 地域の観光資源を映画やドラマのロケ地として誘致するために、フィルムコミッションが下関市などで設立されているが検討してみてもどうか。

環境経済部長 本市では、自動車のカタログ撮影地として焼野海岸のレストランが使用されたり、民放で硫酸町や火薬町の地名が紹介されたりなど、ロケ地としての活躍が見られている。現時点での設置は困難だが、まちの魅力を映像を通じて発信することは観光振興を図る上で極めて有効な手段なので、リニューアルされる観光協会のホームページの中でしっかりとPRしていきたい。

コンビニでの納税

議員 納税者の利便性を高めて収納率を向上させるために、コンビニでの納税を実施している自治体がふえてきているが、検討してみてもどうか。

企画政策部次長 コンビニ納税については東京都等において先行導入され、その動きが急速に全国に拡大している。ただ、小規模な自治体においてはコスト高となるのが想定されるために敬遠されている。

議員 コンビニ納税を導入すると、どれくらい費用がかかるのか。

企画政策部次長 やり方も色々あって一概には言えないが、以前議会で質問が出たときに、システム改修のために約3,000万円という数字を上げている。

公民館長の待遇

議員 公民館長に臨時の職員を充てる方向性だが、臨時職は補助的な業務の意味合いがある一方で、館長には裁量がたくさんある。もう少し館長の待遇を良くできないか。

教育部長 今、月額6,600円という形をお願いしている。待遇につ

いては、もう少し良くしていきたいということで現在検討をしている。

市長 館長には臨時職員の賃金とは別に館長手当を出しているが、それだけでは不十分だとも思える。市の側としても考えなくてはいけない点があるので、館長の1ヶ月の手当については宿題とさせていただきます。



「日本の夕陽百選」焼野海岸

学校給食の改善を求める

高松 秀樹 議員

議員 米飯給食の推進をすべきではないのか

教育部長 米飯給食の回数を増やすことは非常に重要だと考える。安全面と食育基本法、学校給食法の日目標達成面からも、完全米飯給食を目指すことを1つの重要な考えとして、学校給食を進めていくテーブルに乗せて、関係者と協議していきたい。

議員 いまだにアルマイト食器を給食で使用しているが、食育の観点から考えるとどうか。

教育長 アルマイトの食器をどうにかしたいと感じている。日本の食文化を推進する学校給食が逆の方向に今まで向いていたと残念に思う。

議員 ABS食器（ABS樹脂使用）やPEN食器（PEN樹脂使用）に変更した場合、導入にかかる経費は1,830万円。今の財政状況であれば、1,830万円を財政当局に出してくれているのは無理な

話。例えば、保護者が自分の子どもたちが使う食器に対して自己負担をして、一部分を行政が補助金として出すというようなことが可能か。

教育長 あくまでも市が率先してすべきと考えているが、保護者が自分の子どものために少しでも負担して、それを早期に実現させたいという要望があれば、前向きに考えたい。

議員 牛乳はパン食の時も御飯食の時も出ている。例えば、ある日の献立は、「御飯、キムチ鍋、シャキシャキサラダ、牛乳」「さんまのかば焼き、みそ汁、リンゴ、御飯、牛乳」パン食のときはわかるが、牛乳を和食と一緒に出して食育を高らかに唱えるというのは、おかしいのではないのか。

教育部長 牛乳の使用についても、栄養所要量を考えながら、栄養教諭、学校栄養職員を中心にして検討していく一つの課題だと

思っている。

価格の安いゴミ袋になるのか

議員 ゴミ袋の価格は今後どうなるか。

環境経済部次長 指定ごみ袋の小売価格がどのように形成されているのかをよく調査する必要がある。この調査結果を分析し、今後必要な対応を考えていきたい。

また、指定ごみ袋に広告を掲載するなど、価格形成過程とは別の観点からの価格引き下げについても検討してみたい。



アルマイト食器

有帆児童館への入り口の舗装について

福田 勝政 議員

議員 市内児童館のうち、高泊と有帆児童館の入り口は舗装がまだされていない。有帆に関しては県事業である道路の拡幅及び交差点改良により通行が危険なため、地元の方々は市に対し要望書の提出や相談をしたが、管轄が違うので難しいと返答されたがどうか。

市民福祉部次長 舗装の新規施工は困難であると回答したが、2年後の工事完成後には周辺環境の変化に伴い検討する予定。それまでは碎石等での補修で対応したいと考えている。

議員 交通量も多くなるうえ、自動車での通行者も多いので、碎石での補修はかえって危険と思われるため、前向きに考えて欲しい。

磨崖仏周辺の安全と整備

議員 有帆磨崖仏は、所有者の問題、建造年代の調査等を経て、現在は市に譲渡してある。磨崖仏までは高さ 10m、周り 20mくら

いを石垣にロープを張ってあるが非常に危険である。子供から高齢者まで参拝に行くので整備すべきではないか。

教育長 磨崖仏の土地の所有者は市だが、私有地を通って行かなければならない。また筆界未定等の問題のため安全対策を取り難いのが現状である。

市長 市の工作物に対するの必要性、合理性等を検討していきたい。

「おもてなし」で山口国体を盛り上げる

議員 国体に対する市の対応について、おもてなしの一環として「花いっぱい運動」とは、具体的にはどのような取り組みを考えているのか。

国体室長 平成 21 年度は、小・中・高・大学を初め、公民館・企業・自治会・個人など 47 団体の参加をもとに、約 8 万 8,000 本の苗を育てた。今年度も同様に苗の育成

に加え、各会場に設置するためのプランターへの植え付け作業を考えている。

議員 他県同様の花だけではなく、また山陽小野田市に來たいと思える「おもてなし」をどの程度考えているのか。

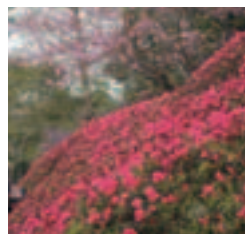
国体室長 国体を契機とした、クリーンアップ大作戦・花いっぱい運動・心のこもった歓迎装飾を考えている。また市の職員、サポーター、ボランティアなどのスタッフには、接遇研修を考えている。



舗装が望まれる有帆児童館前の道路

市民のこえ

原川 盛夫 さん
(稲荷町南)



江汐公園 (つつじ)

公園の活用について

今年は「三寒四温」が長く続き、体調を崩されている人も多いのではないかと心配される。先日久々の好天に誘われて、江汐つつじまつりに出掛けた。42 回を数えるという。ミツバツツジの美しさは、緑の若葉にも、青い湖水にもよく似合う。年々咲きっぷりが見事になり、管理されている方に感謝である。

市内には、たくさんの公園があり、市民一人当たりの公園面積は県内二位だとか。大きな誇りとし、自慢してよい事だ。

毎年それぞれの花の季節に祭り

が行われている馴染みの公園、又ひっそりと静まり返っている広大な公園もある。先人の大いなる遺産である公園を何とかうまく活用し、出来れば市として大きなイベント (NHK ラジオ体操、野外コンサート等) を実施し、多くの市民参加のもと元気なまちづくりを発信し、健康都市、環境都市、文化都市、癒しの都市をアピールし、住民誘致や企業誘致に結びつけられないだろうかと思う。

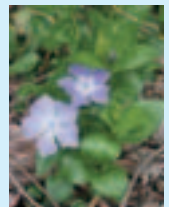
住みよさランキングのランクアップにもつながってくる。くれぐれも宝の持ちぐされにはしたくないと思う。

編集室より

不順な天候もようやく落ち着いた感があります。

さて、前号に引き続き、議会だよりは議会運営委員会での編集となりました。議会の情報を発信する“広報”の役割をどのように形にしていくのか引き続き検討しています。

また、現在“開かれた議会”の実現を目指して、議会基本条例の策定に向け「議会基本条例制定特別委員会」が設置され、活発な議論が行われています。市議会ではより多くの市民の皆さんの声を聞き条例に反映するために、6月にアンケートを実施する予定です。ぜひとも皆様のご協力をよろしくお願いたします。



(江汐公園野草)